

矢板の元気印！

このグループの音楽監督、指揮者の兼崎順一氏（57）が東京から地元矢板に帰ってきたのをきつかけに平成十六年に結成された。

代表の和気良克氏（57）を中心に高校生から五十歳台後半の人たち、女性を含め約三十五人が在籍し、毎週水曜日練習を行っています。

グループの名称は「矢板の仲間」を英語に置き換え、A(Arcop)、B(Board)、C(Companion)のそれぞれの頭文字を取ったもので、読み方はドイツ語で「アー・ベー・

先日、矢板中学校で「日本の伝統文化に触れる」ことを目的として、矢中生とシルバード生との世代間交流が実施されました。

ツェー」とよみ、日本語の音階のラ・シ・ドに相当します。

練習は、前半は各パート別（サクソ・トロンボーン・トランペット・リズム）で練習し後半の三十分間を合同練習します。

皆さん生き生きと、充実した満足げな顔で練習しています。本当に音楽が好きなんだというのがよく分かります。

年に二回の定期演奏会のほか、各種行事などと呼ばれて演奏活動もしています。ジャズやオリジナル曲のほかに、クラシックから現代音

楽までなんでも演奏することを目指しています。

兼崎順一氏は日本でもトップクラスのトランペット奏者で、武蔵野音大在学中に読売交響楽団などのエキストラ団員として活動、北島三郎、村田英雄などのバックバンドも務めていました。

在学三年のとき、ジャズに目覚め大中学を中退、多数のニューミュージック系のアルバムに参加、沢田研二、キャンディーズ、サザンオールスターズなどのステージにも出演しました。

ABCオーケストラ

矢板の仲間」を英語に置き換え、A(Arcop)、B(Board)、C(Companion)のそれぞれの頭文字を取ったもので、読み方はドイツ語で「アー・ベー・

矢中生とシルバード生との世代間交流

着物の着付け、たたみ方や扱い方の指導を受けた後、お茶の席へ行きお茶の飲み方や作法の一端を学習しました。

着物を着たことがなかったり、お茶をいただくためにお菓子（和菓子）も口にしたこともなかったりの現代っ子たちは、珍しいことばかりで大変だったのではないかと思われま

着物の着付け、たたみ方や扱い方の指導を受けた後、お茶の席へ行きお茶の飲み方や作法の一端を学習しました。

最初、緊張していた子どもたちも、素直な態度で熱心に聴き、実際に行動し、だんだんと緊張もほぐれ、楽しく過ごしながらの世代間の交流が無事終了しました。



七年前に矢板の生家に戻ってから作曲、編曲、音楽プロデュース活動を継続するとともに、余暇に野菜作りをしながら地元音大の音楽愛好者の指導、育成に尽力されています。

「逃亡中のカメラが見つかりました。お盆の初日に姿をくらましたカメラが一月十日の夕方、五ヶ月ぶりに我が家にもどってきました。この日近所の方から、同じ職場の人が『サンキ』の前を横断中のカメラを九月初めに発見し、拾って西那須野の自宅に持ち帰ったとのこと。

近所の人が職場で休憩時間に『カメラ』の話を聞いて、我が家のカメラと分かったそうです。

（カメラの飼い主より）」

捜索願のカメラが見つかりました！

本かわら版第2号と第3号に掲載しましたカメラが見つかったとの報告がありました。

そのお宅もお子さんが三人いて、家族で大切に育ててくださったそうです。特に一番上のお兄ちゃん、別れがとて辛かったです。（中略）早速、東京にいる娘に連絡すると、うれしさを元氣一杯になり、悩んでいた問題があつたのに、一度に片付いたと、とても喜んでいました。

カメラの逃亡事件を介し、近所の方も探すのを手伝ってくださった方、ましてや隣町の方が世話して下さったりと、人の暖かさを感じている今日このごろです。

「逃亡中のカメラが見つかりました。お盆の初日に姿をくらましたカメラが一月十日の夕方、五ヶ月ぶりに我が家にもどってきました。この日近所の方から、同じ職場の人が『サンキ』の前を横断中のカメラを九月初めに発見し、拾って西那須野の自宅に持ち帰ったとのこと。

近所の人が職場で休憩時間に『カメラ』の話を聞いて、我が家のカメラと分かったそうです。

（カメラの飼い主より）」

参加者の全員が初めての体験と、充実した楽しい時間が持てたことを喜んでいました。

（2年女子）

着付けやお茶の飲み方などが分からなくて不安だったけど、優しい先生たちのおかげで楽しかった。またやりたい（2年女子）

普段全くやらないことを経験できてとても

（1年男子）

（2年女子）

（2年女子）

（2年女子）

（2年女子）

（2年女子）

（2年女子）

（2年女子）

（2年女子）

（2年女子）

（2年女子）

（2年女子）

（2年女子）

（2年女子）

（2年女子）

（2年女子）

（2年女子）

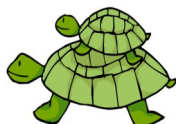
（2年女子）

（2年女子）

（2年女子）

編集後記

4月から新年度が始まりますね。「市民力かわら版」の記者募集が広まりました。お気づきの事お聞きしたいです。記者は声が届くことを右欄のカメラのごとく、首を長くして待ちます。「記者はちょっとねえ」という方は、感想やご意見、「こんな特集やって欲しい」などお寄せください。お待ちしております。



その後のカメラ

雄カメラ（クロ）は雌カメラ（ミドリ）の姿を見るや早速雌カメラに寄り添うようにそばに行きました。雌カメラは箱の中でジッと動かず、冬眠の時期でも多少動きは鈍くなっても、食べたり、動いたりしていましたが、やはりカメラも六ヶ月間旅に出たのがストレスになっていたのかもしれない。なお、カメラの行方については合計三人の方から連絡をいただきました。協力ありがとうございました。